



やさしさ 勇気 喜び そして 夢

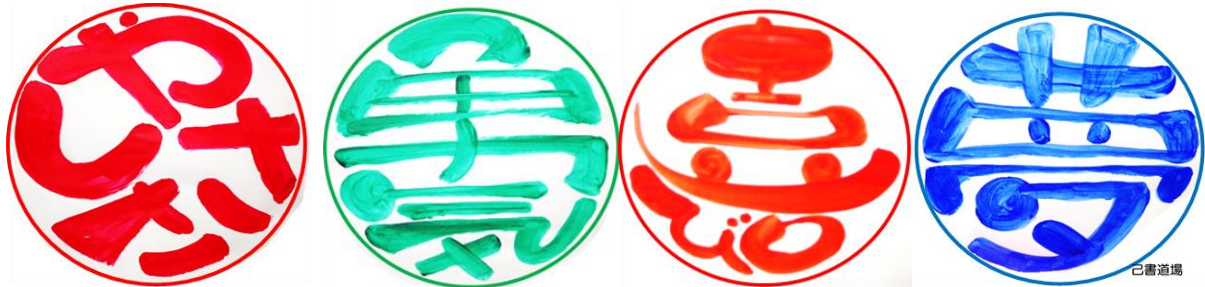
タカラッキー

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

宝木小学校だより第19号
令和7年1月10日発行

(発行者 室田 和宏)

4つの宝 “やさしさ 勇気 喜び 夢”



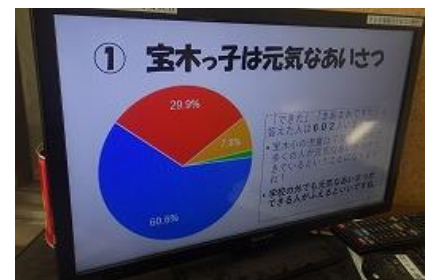
2025年の幕開けです。新年の冷たい空気は凛とした感じがして気が引き締まる思いです。子供たちの元気な笑顔も戻ってきました。久しぶりの早起きだった子も少なくないかもしれません。まずはしっかりと生活のリズムを整えられるよう、ともに支援していければと思います。年初の朝会ではこんな話をしました。



「4年生の親子ふれあい活動でもお世話になった、己書道場の方から宝木小学校に色紙のプレゼントをいただきました。そこには“宝木の子どもたちは目に見えない宝をたくさん持っている。その宝は未来のキーであけるとどんどん広がる。”とメッセージが添えられ、タカラッキーがゴールドに輝くキーを携えています。宝木小学校の先輩たちが、心のなかにずっと育ててきている宝物それは“やさしさ 勇気 喜び 夢”です。令和7年のスタートは、今学年の締めくくりの時期にもなります。皆さんの心の中にある4つの宝物を大きく育てる

年にしてほしいと思います。それにしても、私たちの宝木小学校という名前、素敵だと思いませんか・・・」

そして、児童指導主任から「宝木っ子プロジェクト～めざせ！あたりまえチャンピオン～」振り返りアンケートについて、子供たちと振り返りをしました。あいさつ、言葉遣い、きれいな学校など8つの項目についてグラフにまとめ、頑張ったところを認め、今後さらに取り組んでほしいことを伝えました。凡事徹底は陽西地域学校園での重点、今年も取り組んでまいります。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。



働き方改革とカリキュラムマネジメント＜シリーズ③生活科と総合的な学習の時間＞

本校では栃木県小学校教育研究会宇都宮支部からの指定を受け、令和7年度の11月に「生活科・総合的な学習の時間」の授業づくりについて研究発表会を行う予定です。昨年度からカリキュラムの改善に着手し、本年度は宇都宮市教育委員会に定期的に訪問を要請するなどしながら、実践と検証を重ねてきました。

生活科の目標は「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成すること。」総合的な学習の時間の目標は「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること。」と定められています。また、本市では、郷土への愛情と誇りをもてるようにすることを目的として令和3年度から「宇都宮学」を実施していますので、本校では総合的な学習の時間に「宝木学」を設け、地域に目を向ける学習に力を入れています。体験や活動を通して、探究する姿勢を育むこれらの取組は、行事や各教科との関連性を有効に働かせられるようマネジメントしつつ展開することで、より一層生きる力を育みます。令和7年度の研究の中核に据え、宝木っ子の“フロンティア精神”をさらに磨き上げていきたいと考えています。